

あすなろ通信

No. **132**
2025.11.1発行

あすなろ保育園後援会
飯田市育良町3-15-2
TEL (0265)23-4656

10月3日、かっぱ組とひまわり組は、虚空蔵山に登り、山でしか味わえないたくさんの体験を楽しんできました。

今年も登ったよ 虚空蔵山



あすなろ
は 今

つくし組	(0歳)	7名
たんぽぽ組	(1歳)	11名
ひまわり組	(2歳)	10名
かっぱ組	(3歳)	5名

子どもが見つけたなぎのほりへ (かっぱ組)



手間暇かける大事さ

子ども達は、日々の出会いの中で、たくさんの表情をします。その様子を見守っていると、心の動きや葛藤がよく分かり、素敵な場面に遭遇したなあと嬉しくなります。

例えばダンゴムシを友だちが手の平に乗せているのを見て、自分も触りたくなり、顔をしかめながら、そっと指を伸ばしていき、チヨンと触れることができて、満面の笑み。心が動き、葛藤し、満足するその表情から、その子の心が一つまた豊かになったなあと感じます。

つい、おとなは先回りして手や口を出したくなりますが、子ども自身も葛藤したり思考をめぐることが、育っていく原動力になると言われています。どんどん便利になっていく世の中では、自分の手や頭を使わなくてもいいことが増えています。

今まさに、身体や脳が急成長し、土台を作っていることも達にとつて、手間暇かける（心と身体をたくさん使う）大事さを忘れてはいけな

自然物あそび

あすなろ保育園は、散歩日和の日には散歩に出かけています。

今年は、酷暑で9月になっても散歩に出かける日が例年より少なく、9月下旬からやっと散歩に出かけ草花や虫を探して散策を楽しめるようになってきました。

四季折々の自然から、たくさんのことを教えてもらっているなあと思えます。最近、秋なのに、たんぽぽが満開だったりします。



これなんだ？
触ってみよう、
ひっぱってみよう

夏、秋に入園した子が多く、散歩に慣れている子が多いつくし組です。あちこち出かけて好きなものを見つけています。

避難車から景色を見ることが好きな子や、歩き始めた子は、あちこち歩くことを楽しんでます。

自然物に親しんでほしいので、保育士が草や花を見せながら関わりたいと思えるように、いろいろなアプローチをしています。

最近では、自分で見つけたものを嬉しそうに保育士に指さしして教えてくれる子や、手を出せずにいる子は、保育士が動かして見せると、手を伸ばす時もあります。0歳の時から、好みがあって、触りたい花、草を選んでる子もいます。

これからも、たくさんの自然物に興味を持って関わって、「きれいだなあ」、「おもしろいなあ」など心を動かして楽しんでほしいと思います。



いつもは避難車に乗っていて見せてもらっていた草が目に見えると、すぐに手を伸ばし、触ると動いて面白くて叩いたり、そのうちに引っ張って取って、それを揺らして眺めることをしばらく楽しみました。(8か月と1歳2歳2か月)



保育士に花や草を探ってもらい匂いを嗅いだり、見て観察。(11か月と10か月)



見つけたシロツメクサを摘んで、花びらを次々取って遊んだり、つゆ草の花びらを取ったら、指に青い色が着いて眺めて、その後、手の甲にも塗って遊んでいました。(1歳4か月)



初めて草の上を下りて遊べました。たんぽぽをもらって揺らして遊びました。(1歳)



避難車から下りたくなかったけれど、ドロボー草(くつつく草)を服に保育士がつけいたら興味が出て、自分でもつけてみて、手を離したら落ちてこなくてニコリ。(1歳4か月)



おもしろそう！
真似して、やってみたい！

保育士や友だちが遊んでいる姿を見て、「わたしも！」と何でも真似して“やりたい！”がいっぱいのたんぽぽ組です。

散歩では長い距離を歩けるようになって、「今日は〇〇に行こう」と目的を楽しみに、友だちや保育士と手つなぎをしていろいろな場所に出かけています。

散歩中に出会う草花で遊ぶと、子どもの発想は面白いなと思うことやこんな風に見えるんだという発見があります。



傾斜のある土手に一人が寝転がると、次々に真似して寝転がる子ども達。この日は晴れていたので空もよく見えて、飛行機を見つけていた子どもがいました。とても気持ちよさそうでした。



ツクサは色が付くことを知っていて、見つけると自分の手の甲に塗って色を付けていました。保育士にもつけてくれて「一緒」と嬉しそうにRくん(1歳9か月)



散歩中に雨がパラパラと降って来て、大きなぎしぎしの葉を見つけて頭に乘せて“かさ”にしていました。雨が降ってきたからこそその発見でした。



「あれれ？Tくん（2歳4か月）がいないな」と保育士が言うところ、子どもの背丈ほど伸びた草の中から「はあー」と出てきました。

おしゃべり♪あのね

◎トマトが病気でかかってしまって
保育士「なんで病気になっちゃうんだろう？」

Tくん（3歳5か月）「熱中症じゃない？」

◎酢の物を見ながら

保育士「酢が入っていておいしいんだよ」

Mちゃん（3歳8か月）「ふうん、クモの巣、入っているの？」

◎4か月の子がうつぶせで手を動かしている様子を見て

Hちゃん（4歳4か月）「およいでいる！」



保育士がたんぽぽ笛を鳴らしているところ、「やりたいー」とたんぽぽの茎をもらって、音を鳴らすと力強く吹いていました。



大きな猫じゃらしを見つけて「にゃーにゃ」と言うOちゃん（2歳5か月）。そこへRちゃん（2歳1か月）も来て、猫じゃらしをズボンに入れてもらい、しっぽに見立てて、保育士に「にゃーにゃ！」と見せて回っていました。



◎七夕そうめんを食べながら
Mちゃん（3歳8か月）「七夕の味がする！」

◎きれいな夕焼けをみて

Tくん（3歳7か月）「雷ちゃんが絵の具で描いたの」

その後夕焼けの色が濃くなると「まるで虹が出たみたい」

◎庭のクモの巣が低い位置にあるのを見つけて

Hちゃん（4歳4か月）「クモがとおせんぼしてる」



楽しいが広がる ひまわり組



お散歩バッグいっぱい植物を摘むことを楽しんでいましたが、今では公園に行くと、葉っぱや木の枝をお料理の材料にして友たちとごっこ遊びや見立て遊びをするようになりました。

子どもたちの気づきや発見はおもしろく、おとなも一緒に楽しむことで興味や遊びの輪が広がります。

また、見たり、聞いたり、触ったり、匂いを嗅いだりする中で、豊かな心が育つような場所に出かけていきたいと思います。



ドングリと木の枝を見つけてベンチに座ると、枝でドングリをトントンして「お料理してるの」と言い遊んでいると、隣にいたRくんも真似をしてやっていました。



しゃがんで葉っぱを川で濡らすKくん。



葉っぱを触って見ると「冷たい」と言っ、自分の腕にくっつけ、おとなの腕にもつけて「冷たい？」と聞いていました。



Rくんは、頭を冷やす冷えピタのようにおでこに貼って「気持ちいい」とやっていました。

それを見ていたお友だちは長い葉っぱを探って来て、おとなの腕に巻き付けて遊んでいました。



◆子ども達がのびのびと育つよう応援して下さい◆ あすなる後援会にぜひご参加を！

年間（4月～翌年3月まで）1口…3000円（何口でも）
通信費、活動費などに使います。
【振込み先】飯田信用金庫切石支店 ① 1520079
あすなる後援会 佐々木俊之



顔にムラサキツユクサをつけている
お友だちがいると「ママのお化粧」
と言って自分で摘んで顔につけて見
せてくれました。花びらが落ちない
ように、ゆっくと動いていました。

おしゃべり月あのおね

◎ほおずきを見て

Tくん(2歳3か月)「ピーマン」

◎食パンの耳を残している子に

保育士「みみって言うんだよ」

となりで聞いていたRくん(1歳8か月)自
分の耳を触っていた。



図鑑で調べて、 より虫が 好きになる

今年のかっぱ組は図鑑と虫に興味がある子どもたちです。その二つを上手く組み合わせたら、より楽しめそうと思い、子どもたちとの会話や散歩の様子から活動を工夫しました。

春は、絵本でダンゴムシがニンジンを食べるとニンジン色のうんちが出ると知り、実際にダンゴムシを捕まえてやってみました。

夏は、散歩先の田んぼで、オタマジャクシを探しているといろいろな虫がいることに気付き、お散歩バック(味海苔の容器)で捕まえて、図鑑で調べてみるといろいろな種類がいることを知り、驚いていました。

秋は、帰ってきてすぐに捕まえた虫を調べられたら楽しそうと思い、窓に図鑑を印刷し貼っ

給食で余ったキャベツやニンジンの皮をもらい、どんなうんちが出るのか毎日虫かごを覗いて楽しみにしていました。

「このダンゴムシ松ぼっくり食べてるよ!」「足がいっぱい!」と虫かごの下から覗いていろいろなことに気付いていました。



“ダンゴムシは湿った落ち葉の下にいる”と、絵本で知り、公園へ探しに行きました。

絵本通りに湿った落ち葉の下にダンゴムシを発見!「本当にいるんだ!」と実感した子どもたち。



てみました。捕まえたトンボの違いを比べて「こっちは赤いね」、「口が笑ってる」、「目がピカピカしてる!」と観察することも楽しむ姿が出てきました。

ただ捕まえるだけでなく、名前、特徴、何を食べるのかなど図鑑から知り、子どもたち同士で教え合ったり、他のクラスの友だちや職員にも嬉しそうに伝えているかっぱ組です。



先頭の子がチョウチョを捕まえたいことを知ると、「あそこに行ったよ!」と協力して一緒に捕まえようとしてくれる子どもたち。



チョウチョにそーっと近づいて帽子をポン!「いるかな?」ドキドキしながら開けています。



「○○くんが捕まえたこのトンボかな?」「赤いでこれじゃない?」とみんなでトンボを思い出しながら話し合うのも楽しんでいます。



歳末市でも人気メニュー!

★炊き込みおこわ★

おやつでも人気の炊き込みおこわ!歳末市では釜戸で蒸かすので、格別なおいしさです。園ではもち米100%だと、モチモチしてこども達が食べづらいので、うるち米を混ぜて炊飯器で炊きます。炊飯器で手軽にできるのでぜひお家で作ってみてくださいね!

【材 料】5 合分

もち米 3 合 ごぼう 150 g

うるち米 2 合 こんにゃく 100 g

しめじ 150 g しょう油 5

人参 150 g

鶏肉 250 g

- 作り方
1. もち米・うるち米は洗い、浸水させておく。
 2. 野菜はこまかく切り、煮て火を通していく。
 3. 2にしょう油を入れ煮込む。ザルにあけ、具と汁と分ける。
 4. 炊飯器に米をいれ水と3の汁を5合の線に合わせて、具をのせる。炊飯のスイッチを押し炊いて出来上がり!!

* 具もお好きな具で作ってみてくださいね!



百日咳大流行

健和会病院小児科 和田 浩

百日咳がはやっています。

最初は軽い咳と鼻水が出て、「風邪かな」と思っていると咳がだんだんひどくなり、典型的な場合は、特に夜にコンコンコンと咳が続き吐きそうなくらいになり、息を吸い込むときに「ヒュー」と音がします。

すっきりするまでには 2～3 ヶ月かかります。しかし最近では、こうした典型的な症状になる方はむしろ少なく、「ひどい咳が長引く」という症状のことが多いです。大人でもかかる人は少なくありません。

普通にかかってもかなり大変ですが、一番こわいのは小さい赤ちゃんがかかった場合です。突然呼吸を止めてしまったり、酸素が下がって脳症を起こしたり、場合によっては亡くなることもあります。

予防にはワクチンが有効です。2 ヶ月から

接種する 5 種混合（ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ・ヒブ。以前は 4 種混合や 3 種混合）を打ってあれば、保育園の時期にかかることは非常に少なくなります。

しかし百日咳の免疫はだんだん落ちてきてしまうので、小学校以降にかかる人が多くなります。入学前に 3 種混合（ジフテリア・破傷風・百日咳）を接種し、さらに 11～12 歳での 2 種混合のかわりに百日咳も入った 3 種混合を打つことで免疫を高めることができます。また、大人も 3 種混合で予防することができ、特に妊婦さんへの接種で赤ちゃんへの予防効果があります。いずれも自費接種になります。

ただし、今 3 種混合ワクチンが不足気味で、小さい赤ちゃんとの接触の多い人を優先しましょうと呼びかけられています。

あすなろの予定

11月7日 焼き芋大会 北方公園
点火時間 9:00

12月7日 歳末市 保育園/北方公園
10:00～13:30
雨天決行（会場園内のみ）



出店者
募集

フリーマーケット

あすなろOBの方

※申込は保育園まで

1ブース
500円

編集 後記

◆暑くて長い夏がいつまで続くのかとうんざりしていたら、突然 11 月中旬の寒さとのこと。秋はどこへ……。※前号の編集後記で木村あすなろ後援会会長の名前は奥雄さんでした。お詫びし訂正します。②

◆最近では、おとなとの会話もぐんと上手になってきた息子。おしゃべりが大好きで、おとなの口元をよく見て音をよく聴いて、真似しながらどんどん言葉を覚えていま

す。「そいだもんで〇〇なんな」「見とってな！食べるに～」なんて私の飯用弁までしっかりコピー。思わず笑ってしまうと同時に、言葉って本当に日々の中で育っていくんだあと感じます。なんでも真似して覚えていくからこそ、言い方や話す姿勢も大切にしていきたいと思う今日この頃です。嘗
◆先日、3 歳になったばかりの ひちゃんと一緒に森へ行った時、「ブランコあるかな？」ってつぶやきました。そうなんです。5 月に行った時に太いツルでブランコを作ってゆらゆらした事を覚えていたんですね。心が動く体験ってすご〜く大切な事だと思っていました。③

◆万博は、想像以上で文化や人との交流なども楽しすぎました。世界中のみんなが良い毎日を過ごせるようにするのは人。人が持っている好奇心ってやっぱり偉大ですねえ。④

次号は2月1日発行予定です。いろいろ情報や原稿、ご意見、ご感想をお寄せ下さい。